



アンダルシア

旅行者向けガイド / Turismo Cultural



アンダルシア



/01. 芸術と歴史

先史時代から文明が栄えたアンダルシア地域。現在でもいたる所に、数々の芸術的遺産が残っています。重要な考古学的遺跡、華麗なイスラム建築物、ルネッサンス宮殿、バロック様式教会、古城、スペイン王室の宮殿、風格ある大邸宅、数々の産業遺産に加え、世界遺産に登録された多数の史跡群を含む30,000以上の重要な史跡を目にすることができます。

考古学的遺跡群が多数あることから明らかなように、古代から南ヨーロッパ地方の要所として知られてきたアンダルシアは、漁業や鉱業、貿易で栄え、温暖で過ごしやすい気候も相まって、多様な文化が開花した土地です。アンダルシアにある洞窟は、地質学的な美しさはもちろん、考古学的価値も高く、ネルハ洞窟（マラガ）やタホ デラス フイグラス（ベナルップ カサス）、アルメリアにあるロス レトロス洞窟（世界遺産）では貴重な壁画を見ることができま。アンダルシアにはアンテケラの古墳（マラガ）やハレンシナ デラ コンセプションの古墳（セビリア）、ゴラフェ巨石公園（グラナダ）など巨石建築物も多く残っています。

イベリア文化の中で発展した伝説の王国、タルテッソス。この国があったと伝えられるグアダルキビール川河口近くには、カストゥロ（レナリス）などの要塞都市をはじめ、セリリョ プランコ共同墓地（ポルクナ）や古戦場などがあり、ハエン地方の歴史を物語る考古学的遺産として有名です。ローマ時代には、ベテカとして知られていた地域が 700 年にわたる大きな文明世界の一部をなし、帝国にワインや金属、油、ガラムと呼ばれる調味料などの製品を提供していたと言われています。また、哲学者セネカはコルドバ生まれで、さらに 2 人の古代ローマの皇帝、トラヤヌスとハドリアヌスも輩出しています。帝国の面影は、イタリア（サンティボンセセビリア）やタリファ（カディス）のポコニア ピーチに程近いイエロクラウディアといった都市を通るアウグスタ街道沿いにあるコルドバ、セビリア、カディス地方に色濃く残っています。

8世紀から15世紀初頭まで続いたイスラム支配の影響を強く受け、独自の文化が発展したアンダルシア。当時の美しい建造物や遺跡が今も残されており、コルドバの大モスクやアルハンブラ宮殿といった世界遺産を見ることが出来ます。アル=アンダルスの伝説は、ヒラルダの塔（セビリア）やヘレス デラ フロンテラアルカサル（カディス）、城壁に囲まれたエブラ（ウエルバ）、バサ（グラナダ）や ロンダ（マラガ）にあるアラブ風呂、シエラ モレナ山脈の丘陵地帯に位置する宮殿都市 マティナ アル サファラといったモニュメントにも反映されており、歴史ファンにはたまらないエリアと

いえるでしょう。ムーア人とキリスト教徒間の覇権争いの結果、海岸線や内陸に建てられた城壁や塔、アルカサバ（グアディクス、ロハ、アルメリア、マラガ）にある岩跡に築かれた要塞）も見逃せません。保存状態の良さという点ではアルモドリデルリョ城（コルドバ）が有名で、見所が多いこともあり人気の観光名所になっています。ハエン地方には、パニョス デラ エンシーナやアルカウデテといった城があり、ヨーロッパでも例を見ない要塞網を構築。歴史上重要な役割を果たすことになりました。

グラナダがキリスト教徒に陥落させられた 1492 年、クリストファー・コロンブスはアンダルシアの港、ウエルバのバロス デラ フロンテラから出航し、アメリカ大陸を発見します。これをきっかけに世界経済と政治の中心が変化し、アンダルシア黄金期の幕開けとなりました。セビリアはインド諸島への窓口かつスペイン帝国の中核となり、セビリアの旧商品取引所に置かれていた公文書館だった、インディアス総合古文書館（世界遺産）などの重要な建造物が建てられました。アメリカ大陸への航路が開けたことでセビリアに取って代わったカディスは、強大な経済力を手にすることになります。その象徴ともいえるヘレスのカルトゥハ修道院をはじめ、サンルカル デ ラマエダやブレムテ デ サンタ マリアといった都市に城や邸宅が次々と建てられたのです。

また、キリスト教徒によってゴシック様式がもたらされ、特徴的な教会や壮麗なセビリア大聖堂（世界遺産）などのカドラルが建設されたのもこの時代です。セビリア大聖堂は、ローマのサンピエトロ大聖堂やロンドンのセントポール大聖堂に続き、ヨーロッパで3番目の規模を誇ります。その後、新興のルネッサンスやムデハル様式の流入により、都市はますます多様な顔を持つようになります。コルドバのシナゴグ（ロダヤ教寺院）やセビリア王室の宮殿アルカサル（セビリア）はムデハル様式の傑作と言われています。



イタリアから伝わった古典的なルネッサンス建築は、スペインの近代化のきっかけを作ったカール 5 世（スペイン王としてはカルロス 1 世）がこの地を統治するまでは取り入れられることはありませんでした。アンダルシアも例外ではありません。アンダルシア ルネッサンスを代表する建築の 1 つは、まさにもなく、グラナダのカルロス 5 世宮殿です。また、ベレス城（ベレス プランコ）とカラオラ城（グラナダ）は華やかなスペイン建築から美しいルネッサンス様式の宮殿へと変貌を遂げた、注目に値する建造物です。ルネッサンス様式のピークは、世界遺産に登録されたバエサとウベダでのルネッサンス様式の建造物群です。

アンダルシアにおけるバロック様式の浸透は、スペイン国内でも軍を抜いていました。17 世紀から 18 世紀にかけて、アンダルシアでは膨大な数の教会や宮殿が立てられました。なかでもヘレス デラ フロンテラにあるカルトゥハ修道院は必見です。また、グラナダにもカルトゥハ修道院があり、これらはバロック様式の国家的傑作に位置付けられています。セビリアにある壮大なバロック様式の建造物は、カルモナやマルシェナ、エシハ、オスナ、フエンステ デ アンダルシアなどで見ることが出来ます。特にフエンステ デ アンダルシアはバロック様式を語る上で重要な存在といえるでしょう。そして、コルドバのバロック様式を代表するさまざまな建造物の宝庫として知られるスベチカ地区も見逃せません。特にプリエゴ デ コルドバの街は、バロック芸術のメッカとして知られています。

アンダルシアの近代史は、イベリア半島戦争が勃発し、カディスでスペイン 1812 年憲法が採択され、大変動期となった 19 世紀と深いつながりがあります。また、19 世紀といえば、ロマン主義が流行し、ヨーロッパ旅行者が増え、プロスペル・メリメがセビリア王立たは工場のシガーケースからインスピレーションを受けたという小説「カルメン」を執筆。気前のよい無法者や勇敢な闘牛士が闊歩した時代でもありました。大手の外国企業（主に英国）が、産業規模で産出されるアンダルシアの鉱床を利用し始め、コルドバのセロムリアーノ、ハエン地方、ウエルバのかつての鉱業地帯やリオ ティントといったコミュニティの産業的価値が上昇したのもこの時期です。マンガン、鉄、銅、その他の鉱物を産出した鉱山の町、鉄道、河川に設けられた埠頭など、現在その文化的価値に魅了され、多くの観光客が訪れます。

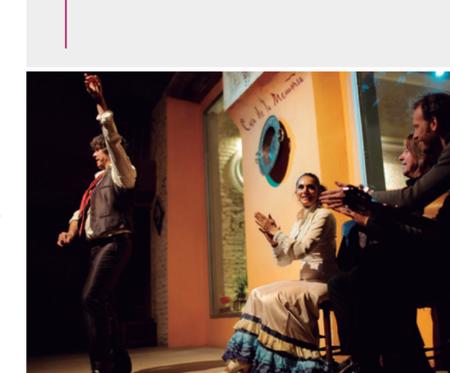
20 世紀初頭のおよそ 30 年間、アンダルシアでは、1929 年にセビリアで開催された「イベロ・アメリカ博覧会」のパビリオンとして建設された、アニバル・ゴンサレスの最高傑作と言われるスベイン広場の建築様式を反映するような、リージョナリズムが発展しました。1992 年には、セビリア万国博覧会が開催され、2000 万人以上（約4180 万人）がセビリアを訪れました。

/02. 世界遺産

アンダルシアの文化的価値が高いことは、ユネスコ世界遺産に多くて物件が登録されていることから明らかです。アンダルシアが世界遺産に登録されている物件には、グラナダのアルハンブラ宮殿と近隣のアルハイス、コルドバの歴史地区やメスキータ、アルカサルとインディアス古文書館、ドニャーナ国立公園、ウベダとバエサのルネッサンス建築などが挙げられます。スペインの他の自治体と同じく、アンダルシアでも 1998 年に登録されたイベリア半島の地中海入り江の岩壁画の一部を形成している壁画の PR に力を入れています。

アンダルシア地方にある他の遺跡等が世界遺産に登録されたことも、大きな推進力になっています。ハエンの大聖堂、アンテケラ古墳の遺跡群も世界遺産への登録が期待されています。

他にもアンダルシアには、無形文化遺産に登録されているものもいくつかあります。フラメンコ（2010 年）、鷹狩りの技術（2010 年）、モロン デラ フロンテラにおける伝統的石灰生成技術の再生性、コルドバのバティオ祭り（2012 年）、健康的な地中海料理（2010 年）などがその例です。



/03. 文化

素晴らしい芸術家を輩出したアンダルシアには、考古学から美術、伝統的なコレクションに至るまで、スペインでも最高レベルの博物館があります。世界的に有名な文化イベントが年間を通じて開催されており、

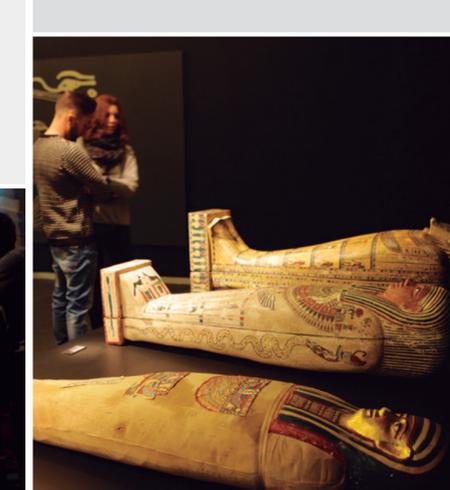
アンダルシアの博物館では多岐にわたる展示物や芸術品を鑑賞することができます。最新の技術を備えた博物館は、文化を体感できる場所であるとともに、地域とその遺産をより詳しく知ることができる素晴らしい場所です。その多くは著名な建物内にあり、展示物だけでなく、こうした建造物を鑑賞するのも楽しみのひとつ。たとえば、グラナダのアルハンブラ博物館とグラナダ美術館はアルハンブラ宮殿内があり、どちらも見ごたえ抜群です。博物館と一言でいっても、歴史と考古学をテーマにしたものもあれば、主にアート作品を収蔵したものもあります。セビリア美術館は後者で、国内で 2 番目に重要なアートギャラリーと言われています。ほかにもグラナダのサイエンスパークのような科学博物館から、ラファエル・アルベルティやガリシア・ロルカ、パブロ・ピカソ、ファン・ラモン・ヘメネスといったアンダルシアが産んだ巨匠の作品を鑑賞できる美術館、現代美術を扱ったホセ・ゲレロ センター、フラメンコや闘牛、馬術などアンダルシアの伝統文化に焦点を当てた博物館なども必見です。

市民にもっと芸術や文化に触れてもらおうと始まった「Noches en Blanco」では、多くの博物館が終夜オープンし、毎回たくさん見学者を集めています。また、入場料無料の日を週 1 回設けている博物館や国際博物館の日など特別な日に館内を無料開放している博物館も多数あります。さらにアンダルシアの博物館は、子供や若者に焦点を当てた取り組みにも力を入れており、年間を通じてさまざまなプログラムやアクティビティ、ワークショップが開催されています。また、マラガはセビリア美術館やアルハンブラ博物館をはじめ、近代美術館のボンビドーセンター、カルメン ティッシュ美術館、ピカソ美術館など、美術館や博物館が多いことでも知られています。

音楽や映画、演劇、詩、ダンス、フラメンコ、写真など、あらゆるジャンルのイベントが開催されていることも、アンダルシアが文化と芸術の街と呼ばれる所以です。こうしたイベントには国際的にも名高い、グラナダ国際音楽演奏祭、ネルハ洞窟国際舞踊音楽祭（マラガ）、イベロ アメリカ国際演劇祭（カディス）、バルマテルリオ演劇祭（コルドバ）、ビエナル フラメンコフェスティバル（セビリア）、イタリカ国際舞踏祭（セビリア）などが含まれています。

アンダルシアでは、マラガ スペイン映画祭や国際映画音楽祭（コルドバ）、アルカンセス ドキュメンタリー映画祭（カディス）、ウエルバイベロ アメリカ映画祭、セビリア ヨーロッパ映画祭など、映画祭や映画関連イベントも盛りだくさんです。また、映画のロケ地としても大変人気で、これまでに撮影された作品は数知れず。人気ドラマシリーズ『ゲーム・オブ・スローンズ』（原題：Game of Thrones）もアンダルシアの雄大な自然の中で撮影されており、同じくここで撮影された映画『La Isla Mínima』はスペインのアカデミー賞といわれる 2015 年度ゴヤ賞を 10 部門で受賞しています。

詳細は博物館の紹介サイトをご覧ください。



/04. 伝統

あらゆる国境や壁を超え、アンダルシアの人のアイデンティティを象徴するのは、フラメンコと闘牛、馬の 3 つです。クラフトマンシップもまた、アンダルシアが世界に誇る芸術で、昔ながらの技術を用いた新しい製品が続々と誕生しています。

ヘレスやセビリア、カディスからは、カマロン・デ・ラ・イスラ、パコ・デ・ルシア、マノロ・サンルーカル、エンリケ・モレンテなど、フラメンコ界の重鎮たちが誕生しています。アンダルシア地方のフォーコアとしての真の芸術的表現であることが認められたフラメンコは、2010 年に無形文化遺産として登録されました。各地でさまざまなフラメンコ フェスティバルが開催されていますが、中でもスペイン最長の歴史を誇る「Potaje Gitano」は、ウトレラで毎年開催される祭典で、世界各地から大勢のフラメンコ愛好家が集まります。アンダルシア特有のフラメンコ クラブの存在も見逃せません。短い滞在期間でフラメンコを楽しむなら、「フラメンコ街道」と呼ばれるルートを辿るのがオススメです。

馬術においても世界トップレベルを誇るアンダルシア。特にヘレス デラ フロンテラ（カディス）はアンダルシア馬（カルトウハ種）の原産地として有名。ヘレスの王立アンダルシア美術学校で開催されるアンダルシアンホースダンスショーでは、人馬一体の素晴らしい演技を見ることが出来ます。ドニャーナ地方には野生のレチュエルタ種が生息しており、雄馬や仔馬を追い込む伝統行事、サカ デラス イエグアスも見逃せません。アンダルシアのフェスティバルに欠かせないこの気高い馬たちは、スペイン国際観光行事に指定されたヘレス デラ フロンテラのホースフェア（カディス）やサンルーカル ホースレースなどでも活躍しています。

スペインの伝統競技といえば闘牛ですが、これもまたアンダルシアに深く根差した伝統で、ホセ・コロ・ガジョ、マフレテ、ファン・ベルモンテといった有名な闘牛士を輩出してきました。アンダルシアは、スペイン有数の名門牧場があるところでも有名です。闘牛のルーツは 2 つの街、ロンダとセビリアにあり、ここにはスペインで最も美しいとされる、ロンダ闘牛場とセビリア王立騎士協会闘牛場があります。この地域には、他にも有名なコルドバの街角闘牛場、マラガのマラゲータ闘牛場やアンテケラの闘牛場などがあり、闘牛ファンには嬉しいばかり。これらの闘牛場では、地元色で反映された建築様式にも注目ください。

伝統を守りながら、新しいことに挑戦し続けるアンダルシアの職人たち。この土地には、陶器や陶芸、弦楽器製作（グラナダのギターなど）、大理石加工（マカエル・アルメリア）、コルドバのコードバン革などの皮革加工（ソフトレザー）、バレルパ デ ブーツ製作（ウエルバ）など、さまざまな分野の職人が匠の技術を追求しています。ウブリケ（カディス）は、ヨーロッパの中でも皮革製品工場が多いことで知られており、コルドバはジュエリー産業の中心地でもあります。

世界的に有名なフェスティバルが数多いアンダルシア。この風習は、旅行者を驚かす受け入れられるさくで陽気な人が多い土地ならではの魅力も。

/05. フェスティバル

世界的に有名なフェスティバルが数多いアンダルシア。この風習は、旅行者を驚かす受け入れられるさくで陽気な人が多い土地ならではの魅力も。

アンダルシアの祭りは、地域によってさまざまです。スペイン国際観光行事に指定されているカディスのカーニバルは、フリヤ大劇場での団体歌唱コンテストが有名。各地区が趣向を凝らしたパレードを繰り広げるキリスト教の聖週間がこれに続きます。聖週間はアンダルシアの観光行事に指定されている盛大な伝統行事です。鳴り響くドラムと香を焚く香り、夜になると街角にはランタンが灯り、音楽に合わせた着飾った人々が踊るフェア デ アプリル。世界的にも有名なこの春祭り、マラガやセビリアが有名です。他にも、5 月の十字架祭り、イスラム教徒とキリスト教徒の祭り、守護聖人を礼拝する巡礼、ワインなどの各種収穫祭といったイベントが開催されています。コルドバのバティオ祭りはユネスコ無形文化遺産に指定されており、アンドゥルハ・カベサ聖母の巡礼（ハエン）やアルモンチのエル・ロシオの巡礼（ウエルバ）もよく知られた巡礼祭です。

詳細はフェスティバルの紹介サイトをご覧ください。

Andalusia

www.andalucia.org

FSC RECYCLOADO Paper FSC® C117837
 DIN 6738
 Ecolabel
 PCF PROCESS CHAIN FSC® C117837
 FSC RECYCLOADO Paper FSC® C117837
 DIN 6738
 Ecolabel
 PCF PROCESS CHAIN FSC® C117837
 FSC RECYCLOADO Paper FSC® C117837
 DIN 6738
 Ecolabel
 PCF PROCESS CHAIN FSC® C117837

JUNTA DE ANDALUCÍA
 Consejería de Turismo y Deporte
 Empresa Pública para la Gestión del Turismo y del Deporte de Andalucía, S.A.
 C/Compañía, 40.
 29008 Málaga
 www.andalucia.org

アンダルシアでは、パンフレットに使用された紙をリサイクルすることで、2015年には環境に影響を以下の通り軽減できた。

116,752 kg のごみの量	17,261 kg の二酸化炭素の排出量	172,614 km の自動車による移動距離
3,158,272 リットルの水の使用量	193,575 kw のエネルギー消費量	189,666 kg の木材の使用量

制作: Tinta Creativa, S.L. | 印刷: Tinta Creativa Impresores, S.L.
 発行: 2015年10月 | 発行: 2015年10月

お薦め

Andalucía

洞窟・洞穴

岩石や時間の流れが創り出した地下の世界をお楽しみください。

Maravillas 洞窟 (アテセナ、ウエルバ)、Tajo de las Figuras 洞窟 (ベナルブプ=カサス、エハス、カディス)、Pileta 洞窟 (ベナハハン、マラガ)、Ardales 洞窟 (アルダレス、マラガ)、Tesoro 洞窟 (リソウコ、デラ ビタトリ、マラガ)、Neria 洞窟 (ネリャ、マラガ)、Agua 洞窟 (イタナホス、グラナダ)、Ventanas 洞窟 (ビナー、グラナダ)、Sorbas 洞窟 (シルバス、アルメリア)、Letreros 洞窟 (ベレス、ブランユ、ルメリヤ)、Ambrosio 洞窟 (ベレス、ブランユ、マリア、アルメリヤ)、Agua 洞窟 (ケサダ、ハエン)、Murciélagos 洞窟 (スエロス、コルドバ)、Yeso 洞窟 (リエナ)。

アンダルシアの巨石

原始的種族が暮らし続けた銅器時代へと、何千年も戻るような感覚を覚える「巨石」との出会い。

Parque Megalítico de Gorafe 公園 (コラフェ、グラナダ)、Peña de los Gitanos (モンテフリオ、グラナダ)、Dólmenes de Sierra Martilla (ロハ、グラナダ)、Dólmenes de Antequera (アンテケラ、マラガ)、Dólmenes de Tomillos (アルカラル バジェ、カディス)、Dólmenes de El Charcón (エル ガストル、カディス)、Dolmen de Albente (ビリヤマルティン、カディス)、Dólmenes de Valencina de la Concepción (バレンシナ デラ コンセプション、セビリア)、Dólmenes de El Ruzuelo (サラメア、ラレアル、ウエルバ)、Dolmen de soto (トリゲロス、ウエルバ)。

イベリア時代への回帰

www.viajealtempodelosiberos.com

ハエン地方のイベリア文化が残した偉大な考古学的遺産は、その種の遺産としては世界唯一のものです。

Museo i bero de Jaén、Oppidium de Puente Tablas (ハエン)、Santuario Heroico de El Pajarillo (ウエルマ)、Cámara sepulcral de Toya (ハール デ ベセロ)、Hipogeo de Hornos (ハール デ ベセロ)、Cueva de la Lobera (カス デジャール)、Murala Cóloma (イブロス)、Ciudad de Cástulo (リナーレス)、Museo arqueológico de Linares y Cerrillo Blanco (ボルクナ)、その他のお薦めスポットトウウエ (カハラ、グラナダ)、バスティ (バサ、グラナダ)、トレバ レドネス (バシナおよびカストロ デルリオ、コルドバ)。

アンダルシア街道

www.beticaromana.org

ローマ属州ヒスパニア最南端にある県から北へ伸びるアンダルシア街道。同じエリアには、アウグスタ街道も走っています。

マルチェナ (セビリア)、オスナ (セビリア)、フエンテヘニル (コルドバ)、アルメ ディニャ (コルドバ)、モントロ (コルドバ)、コルドバ、アルモドバル デルリオ (コルドバ)、エシハ (セビリア)、ラルレイサナ (セビリア)、カルマサ (セビリア)、サンティホンセ (セビリア)、ヘレス デラ フロンテラ (カディス)、カディスおよびタリファ (カディス)。

ユダヤ人街

www.redjuderias.org

アンダルシアの主要ユダヤ人街が集まるこのエリアでは、スペイン系ユダヤ人が残した芸術や文化に触れることができます。

セビリア、コルドバ、ルセーナ (コルドバ)、ハエン。

アル＝アンダルス街道

www.legadoandalusi.es

グラナダ王国とアンダルシアやムルシア、ポルトガルをつなぐアル＝アンダルス街道は、ローマ王朝時代に多くの人々に利用された街道です。

カリャ王国街道: コルドバ、コルドバ、エスベホ、カストロ デルリオ、バエナス エロス、ルカ、フォルナン＝ヌエス、モンテマヨール、モンティリャ、アギラール デラ フロンテラ、ルセーナ、カブラ、プリエコ デ コルドバ、カルカブエイ、アルカウデテ、カステイジョ デ ロクビン、アルカラ ラレアル、**グラナダ**、ヒノサ、フエンテ、グエベニル、モクリン、コロメラ、ココージョス、テラ ベガ、アルファカール、ヒスナル、グラナダ。

ワシントン・アーヴィング街道: **セビリア**、セビリア、アルカラ デ グアタイラ、カルモナ、マルチェナ、アラアル、エシハ、オスナ、エステバ、ロダ デ アンダル シャ、**マラガ**、フエンテ デ ビエドラ、ウミジャテロ、モジナ、アンテケラ、アル チドーナ。 **グラナダ**: ロハ、ウエルバ、ニル、モロハ、デ サファヨナ、アルアマ デ グラナダ、モンテフリオ、イジョラ、フエンテ バグロス、チャウチナ、サンタフェ、グラナダ。

ナサル街道: ハエン、ナバス、デトロサ、ラ カロリナ、パソス デラ エンキナ、バイレン、メンビエル、アンドラハル、アルホナ、ボルクナ、トレド、ヒメマ、マルトス、トリ、テリカ、カンボリアール、バエホ、ウエルバ、ホタル、ヒゲマ、マンチ、マレアル、ハエン、ラカハラ、デハエン、カレイル、カレイル、**グラナダ**、グアタマル、ハビナー、イストジョス、テイフンテス、アルボロ、マラセナ、グラナダ。

アルモラビデ&アルモハード街道: **カディス**:カディス、エル フェルト デ サンタ マリア、ハエン、テラ フロ、グエラ、アルボロ、デラ フロ、グエラ、グエラ、シララ デラ ヴェラ、アルコトレス、カハラ、セテニル、テラス、ボサガス、タリファ、アルハラス、メデイナ＝エシナ、アルカラ デ ロス、カスレス、カステリヤール、デラ フロンテラ、ヒメナ デラ フロンテラ、**マラガ**:カウシム、カサーレス、アルカトシム、ベナラウリア、ベナダリウ、アダハテ、ロンダ、デハ、カンビロス、ベレス、マラガ、アルカウシム、**グラナダ**: サファラヤ、アルアマ デ グラナダ、ラ マラア、ラス ガヒアス、グラナダ。

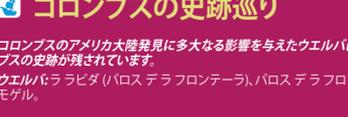
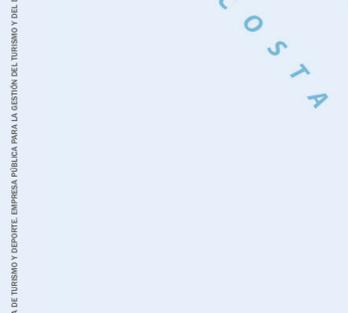
アルプハリ街道: **グラナダ**: グラナダ、ウエルバ、ベガ、カハル、ラ スピダ、パハル、アヒラル、オウウラ、ドルカール、ランロン、オレバ、トルビエスコ、ハン、ベレス、カレレイラ、トリレス、ホルツゴス、プスキスタル、トレベレス、アピレス、ナールヨレス、カデ、アル、メシナ、ボンパロン、パロール、ウビバル、ラロス、**アルメリヤ**:ラウハル、デ アンダラクス、フォンダン、アルマテ、アデルリア、ア、ベナドックス、シエラ アラミージャ温泉、ベチナ、アルメリヤ。

イブン・アル＝ハテブ街道: **アルメリヤ**:ベレス、ルピオ、ベレス、ブランユ、マリア、**グラナダ**: エブレラ、デーン、ファドリケ、ウエスカル、カストリル、ホルセ、ガレラ、クリル、バサ、コル、グアティクス、ガリルナ、デイエスマ、ウエルトル デ サンティジャン、グラナダ。

アル＝イドリジ街道: **マラガ**: マラガ、トロクス、フリリアナ、ネリャ、**グラナダ**: アルムニエーカール、サロブレニャ、モドリル、ベレス、デ、ベナウダリヤ、レクリン、モンドカール、ニゴエナス、パドラル、アレンディン、グラナダ。

アル＝ムウタド街道: **ウエルバ**:ルアヤモンテ、レベ、ウエルバ、ララビダ、パソス デラ フロンテラ、モガル、エブレラ、ラ ヴィマル、テリ コフタド、コルテカナ、アローチエ、アルモステーラ、ラ レアル、アテセナ、**セビリア**: サンルカール ラ マヨール、サンティボンセ、セビリア。

グラナダウォーキング街道: **グラナダ**。



古城と古戦場街道

www.castillosybataallas.com

ハエン県は、ヨーロッパでも古城と要塞が多い土地として知られており、古城めぐりや古戦場めぐりが楽しめます。

ハエン:Castro Ferral 城 (サンタエレナ)、Navas de Tolosa 城 (ラ カロリナ)、Giribailes および Vilches 城 (ビルチェス)、Santa Eufemia および Tobaruela 城 (リナーレス)、Baños de la Encina 城、Andujar 城、Trovador Macias 城 (アルホニージャ)、Arjona 城、Lopera 城、Boadbill の塔および城堡 (ボルクナ)、El Burreuco 城 (トレリカノホ)、Santa Catalina 城 (ハエン)、Torredonjimeno 城、La Villa および La Peña 城 (マルトス)、Alcaudete および La Mota 要塞 (アルカラ ラレアル)、その他のお勧めスポット: モンテフリオ、イジョラ、モクリン、アルハンブラ (グラナダ)。

スペイン南部のルネッサンス

スペイン南部には、ユネスコ世界遺産に登録されている街がいくつもあり、ルネッサンス時代にアンダルシアで制作された芸術品の数々を鑑賞できます。

ハエン: ウベダ、サビオテ、トレベロビル、カソリラ、イルエラ、オハロス、セグ ラ デラシエラ、ビリヤカリヨ、カステリヤール、ハエン、カネナ、リナーレス、バーニョス デラ エンシーナ、ラ グアルティヤ、デハエン、ウエルマ、ドレス、マンチャレアル、ハエン、マルトス、アルカウデテ、バルデペーニャステ、ハエン、アルカラ ラレアル。

他の提案: バラシオデカルロスV(グラナダ)。

モテル。



中央部にある中規模都市アンダルシア

www.tuistoria.org

アンダルシア中心部にある6都市を周遊するユニークなカルチャー ツアー。アルカラ ラレアル (ハエン)、アンテケラ (マラガ)、エシハ (セビリア)、エステバ (セビリア)、ロハ (グラナダ)、ルセーナ (コルドバ)。

スペイン南部のルネッサンス

スペイン南部には、ユネスコ世界遺産に登録されている街がいくつもあり、ルネッサンス時代にアンダルシアで制作された芸術品の数々を鑑賞できます。

ハエン: ウベダ、サビオテ、トレベロビル、カソリラ、イルエラ、オハロス、セグ ラ デラシエラ、ビリヤカリヨ、カステリヤール、ハエン、カネナ、リナーレス、バーニョス デラ エンシーナ、ラ グアルティヤ、デハエン、ウエルマ、ドレス、マンチャレアル、ハエン、マルトス、アルカウデテ、バルデペーニャステ、ハエン、アルカラ ラレアル。

他の提案: バラシオデカルロスV(グラナダ)。

モテル。



バロック時代のアンダルシア

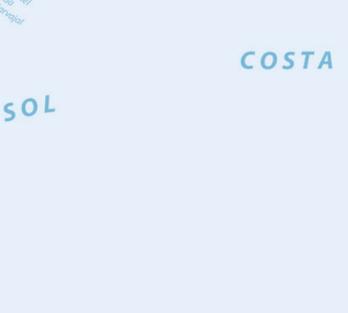
17〜18世紀、バロック芸術が繁栄したスペイン。アンダルシアもその例外ではなく、見事なバロック建築の寺院や邸宅が点在しています。

グラナダ: グラナダ、グアティクス、ロハ、セビリア; カルモナ、エシハ、エステバ、フエンテス、デ アンダルシヤ、マルチュナ、オスナ、セビリア、**マラガ**: アンテケラ、マラガ、**コルドバ**: バナメヒ、カブラ、コルドバ、モンサナ、ラレス、ルセーナ、**ブランヤナ**: プリエゴ デ コルドバ、**カディス**: ベレス、カディス、**ハエン**:アルカラ ラレアル。

ホセ・マリア緑の地「エル テンプラニリーヨ」

www.rutadeltemprranillo.es
アンダルシアは、ホセ・マリア率いる伝説の山賊が勢力を振るった土地としても有名です。

セビリア /パドラルタ、コルコヤ、カサリチホ、**コルドバ** /ベナメヒ、ハウハ (ルセーナ)、**マラガ**:アラメダ。



映画撮影の地

www.andaluciafilm.com